三体千字文を書く(22)

締切り 十月二十五日 (必着)

□作品の出し方

- ・毛筆部=半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
 - (黒色に限る)

下の紙に書いて下さい。用具は自由です。 硬筆部=B5判(二五七㎜×一八二㎜)以

- 毛のどちらか一方に限ります。 出品制限の対象とはしませんが、出品は硬
 - ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・ 掲載しますが、成績表での順位発表はしま 成績)を、作品余白にお書き下さい。 硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の
- 奥 村 憲 照 先 生 書

- ◆硬筆の専門誌だった大書心に一般 トしましたが、憲照先生の穏健中 毛筆部が設立されたのは、昭和五 「三体千字文」の一課題からスター 十六(一九八一)年四月のことです。
- ▼原点に返って、基本用筆と正しい した。 博し、 図り、本会の発展へとつながりま ガンを打ち立てて毛筆部の充実を 正で気品のある毛筆手本が好評を 「硬毛一致」の新しいスロー
- 崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

手本であり、初学者の教科書でもあっ 身・斉家等について述べられた習字 字からなっており、聖徳・修養・修 四言古詩二五〇句、重複しない千

跡中からまとめたといわれる。 の命を受け、 梁の武帝 周興嗣が王羲之の筆しゅうこうし おうぎし (在位五〇二~五四九)

乃気始シ 服る制な説 **衣**ィ文^セシ **裳**ダ字シ

文字が制定された。 黄帝のとき始めて蒼頡によって

着るようになった。 身分に応じた衣服の制を定めて 準初段から六段まで

新入から1級まで

同字変化をつけて

[解

説〕

行書は、

線から線へと連なる心持ちで書くように。

野 おか 聞 りゅう 田 書 ▷用具=自由(黒色に限る) ▷用紙=本会段位用紙

大 たに谷 世清 城 書 ▷用具=自由(黒色に限る)

★疑う…(書体=行書

▷用紙=本会級位用紙

·師範=楷書 ·教範 · 書範 = 行書 経

〔解

説〕

ペン使い)

で、

11月課題予告 (行草または草書)

②楷書は書法の基本であり、書法とは筆法と結構法とによって構成されています。筆法とは筆使

結構とは形のとり方です。両方をうまく取り入れて楽しく練習して下さい。

▶教範・書範は右課題を

「行草または草書」

で

師範は

「行書」

で出書して下さい。

相手の心も穏やかになって、よりよ では、相手の苦言を受け止め、 科学、芸術に活躍したのも、 識が得られるのです。寺田寅彦が文学、 がわいてきます。こうしてより深い知 できます。 らそうと研究すれば、よく知ることが 都合や自我をなくして聞くことが大切 なく疑い続けたからでしょう。 ★直言:: 八間関系を形成することができるでしょ 自信は 11月課題予告 秘訣である 成功の第 仕事でも日常の生活でも、 疑うことは知の基本です。 晋しんじょ の正史。六四八年成る 物理学者·随筆家 寺田寅彦(一八七八~ この広い心をもって接すれ (書体=楷書 (中国二十四史の よく知るとまた新たな疑問 __. の (楷書 一九三五 疑問 対人関係 飽くこと 自 分の をは ば

準初段から六段まで

新入から1級まで

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。 大 みや宮 春

ちょう 大 春 みや宮 ▷用具=自由(黒色に限る) ▷用紙=本会段位用紙

▷用具=自由(黒色に限る) ▷用紙=本会級位用紙 た重みが感じられて、その生命がじん をふれて手折ってみると、はらりとし にした。そのすすきの一本にそっと手 の到来を感じさせる一群のすすきを目 と伝わってくるようであった。

[古筆参考]

東と 春す 半は 登と 利り まったっても

をりとりてはらりとおもきすすきかな (飯田蛇笏)

きょう

[句意]山路をたどり行くと秋の季節

をりとりてはらりとおもきすすきかな
里登 天半 東 毛支奉 、 可

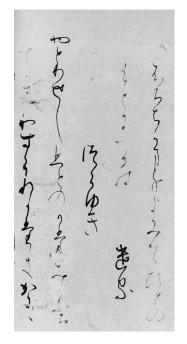
木曽路ゆく我も旅人散る木の葉

(臼田亜浪)

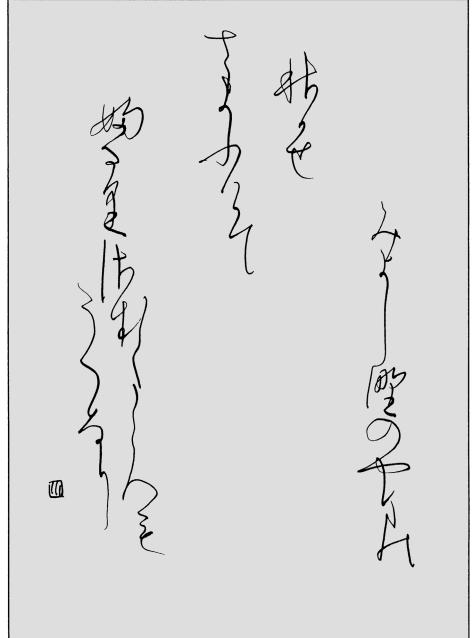
いようすら

締切り 十月二十五日 (必着)

[古筆参考] せきどぼんこきんしゅう 関戸本古今集



はかまわすられかたきかにゝ やとりせしひとのかたみかふち もとにつかはしける電器 ふちばかまをよみてひとの不。者可万 つらゆき



築な 瀬せ 舟り 香さ 書

(解説)

金と(((</l>(((((((((((((</l>((((((((((((((((((((((((((((((((</l>(((</l>((((((</l 回と①、回と母、 少と (1) それぞれ呼応。 分とま、

金白大切。

ながれ-ゆれ

|指向性、線の方向大切。

るだけでなく左に働き出す文字が生ま にします。 れが出来ます。 れ、それを右にもどす、と云う行のゆ です。一行の文字数が多くなると流れ かなは縦に流れることがまず基本形 ゆれる流れが行を豊か

▶11月課題予告 木の葉乱れて物ぞかなしき山里の風すさまじき夕暮に

ふるさとさむく衣打つなり 場 単 佐 ころ毛ュ 奈 ちまの山の秋風さ夜ふけて 藤原雅経

たこの里はしんしんと冷えて、

衣を打

つ冴えた音が聞こえてくる。

[出典] 新古今和歌集

(新潮日本古典集成

るとともにいよいよ寒く、離宮のあっ

〔歌意〕 吉野山に吹く秋風は夜が更け

実 用

10月25日(必着) 締切り

この小さな田舎町も、 はじけんばかりの大歓声が響いて パワーで活気づいてきました。 明るく威勢のよいマーチや若人の きます。体育祭のシーズンとなり 目にしみるような真っ青な空に 子供たちの

作品の出し方

「作品の出し方

「作品の出し方

「作品の出し方

「無無」はがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
「無していき、横書き課題ともに自由。」
(無色に限る)

パワーで活気が子きずれることなりは、一は、大は田舎町も、子供ないのはないとなり 明可感勢のシスマーチや名人の

◎手本は水性ボールペン使用

書き 課題

おか聞 じ鳴 は桂 せん **|||** 書

夏目漱石は,明治38年一吾輩は猫 てある」により一躍有名になった。 大阪府堺市

★三行目は、**指定の地名**と氏名を書いて下さい。 ※手本は、つけペン使用。

田た 蒼き 仙せん 書

荻ぉ

[出典] 孔子廟堂碑(626~633) **(筆者)** 虞世南(558~638) (読み) 一日万機、間安の

奥なく 村ら 暢ぶ 之き

(うていらくようおお **〔読み〕空庭落葉多**し

準初段から師範まで

臨

〔大意〕ものさびた庭に落葉が多くなった。

浅さ 井い 機き

山ざん 先 生 書

準初段から師範まで

雨風にますます赤し唐辛子

■両課題とも文字の変換、 ちらし方は自由です。

〔**出典**〕 良 寛

(歌意) 月光の照らす時刻まで待ってお帰り下さい。山路は栗のいがが 多いので。

[**出典**] 正岡子規

[句意] 軒先に真っ赤になってぶら下っている赤い唐辛子が雨風にます ます濃くなるようだ。深まる秋の感じがとらえられた句。

般部毛筆細字課題

般部毛筆条幅課題

荻ぉ 田た 蒼さ

仙ぱん

書

締切り

十月二十五日(必着)

半

切

(一三六 m×三五

だ 田 かい と随 が華 書

半紙 (3 3 4 mm× 2 4 0 mm)

と伺い不幸中の幸いと安堵して 驚きました でも完全に回復できる 機敏な誠さんが交通事故にあわれ

(ご自分の氏名)

います くれぐれもお大事に

印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

新入から師範まで、どなたでも出書できます。

書体変換、変体仮名の交換は自由です。 成績(天位~5等)は、評価により毎月変わります。

茎より葉を入れた酒で、 飲むのによいのは蓮の 〔大意〕長い夏の日に

のである。 田に咲いた稲花が匂う 初出品の方へ やがて豊年らしく広い 支部名・会員番号・

を、作品左下に必ず 姓名·毛筆漢字成績 お書き下さい。

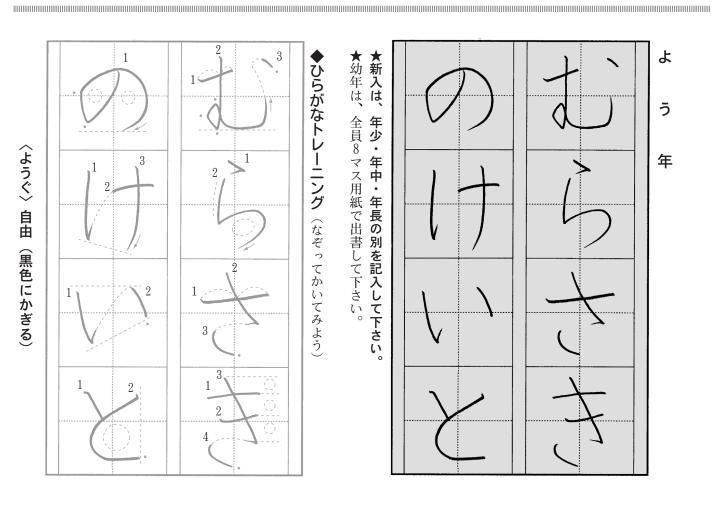
面か或いはそのようなスタイルに創れるかを考えて選る人の目の向く位置に魅力ある(スタイルのよい)字(条幅解説)詩の選び方=展覧会等比べっこの場合、見

強の意味で字面はあまり考えません。競う場だけでな 文します。それが無理なら詩句を替えます。平素は勉

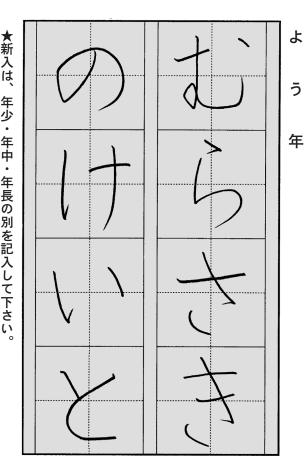
後で部屋に飾ったり人に贈る場合は、詩、

句の内

容を考えるべきと思います。



★新入は、 ★幼年は、 全員8マス用紙で出書して下さい。 年少・年中・年長の別を記入して下さい。



(注) えんぴつ書きでは、 消しゴムを使ってはいけません。

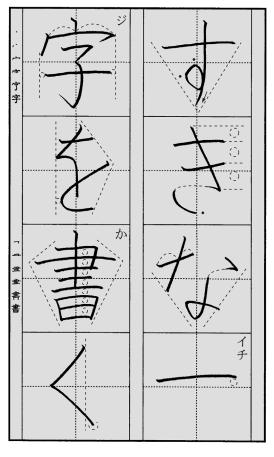
		7	2			ナ	
幼年~小三年					A	<u> </u>	
三年三年 宅 容 容 なかけ よう	ノ入			, ~ ~ 气氕気	とアメ	*	
在 玉 書		7	1,				

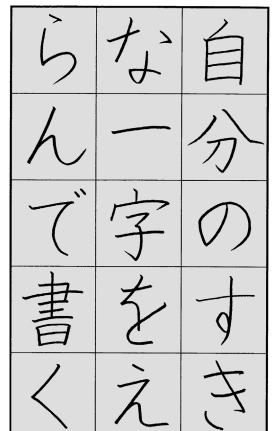
新入~1級



準初段以上

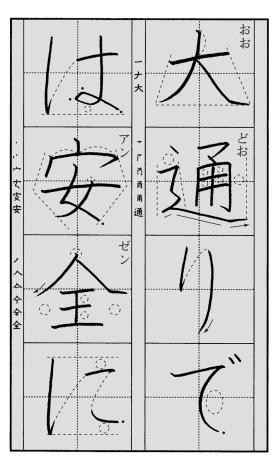






準初段以上

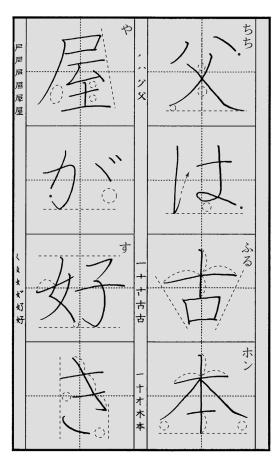
小

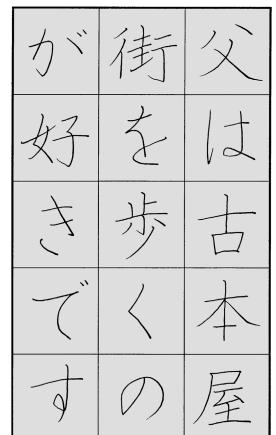


新入~1級

(注)	1	急	大	小三年
(注) えんぴつ書きでは、	わ	カベ	通	
	t	4	1)	
消しゴムを使ってはいけません。	ろ	安	7	
けません。	う	全	11	準初段以上





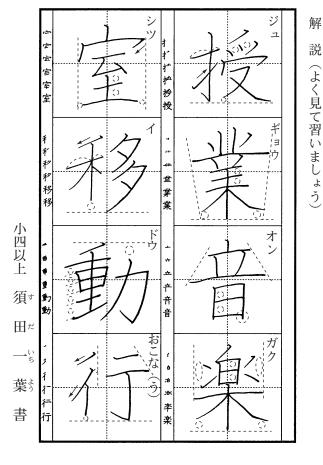


準初段以上

小

兀

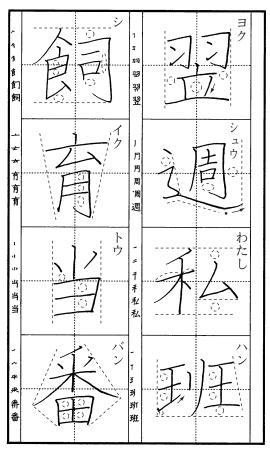
年



(よく見て習いましょう)

		至	授	小五年
小五以上は、	行		業	
		移	17	
全員15マス用紙で出書して下さい。	#	動	音	
て下さい。	7		楽	(全員)





解 説(よく見て習いましょう)

\bigcirc	班	迢
自司	カッ	遇
台月	H	17
当	+	私
番	+"	\bigcirc

(全 E

中

小

六

年

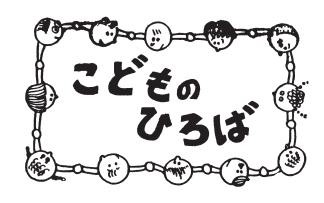
◎お手本は、つけペンで書きました。

钦	清	保
芝	島	六月
居	大	实
流	部	习习
1	0)	7"

二 · 三 年 (行書)

5		分子
3/11		都
7	本	0
116	庭	美
7	遠	

◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 10月25日(必着)

習っていない漢字は、 ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 前 岨 玉 華 書

出てるが東リーテルとるおはいのはでいる。

- 選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 下さい。下さい。
- 筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- を適当に短くして下さい。四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章

支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。

貼っ

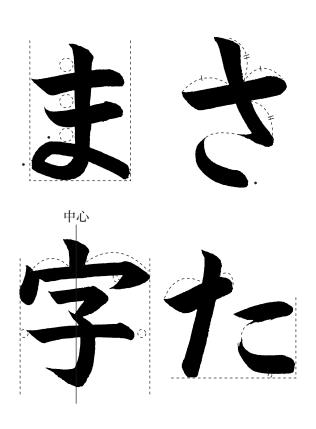
ていない方は新入とみなします。

成績は評価により毎月変わります。

◎お手本はつけペン使用





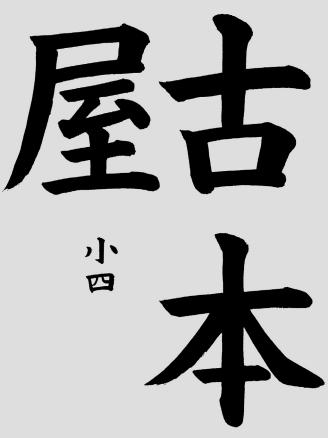




全自来来



海 城 大



一〜小五年 水野の

か野香 竹

書

小六~中二・三年 奥村 暢之

書

○行書は気脈を大切にしよう。

がある。

当的

海 為

